

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 新 美濃和紙ブランドECサイト構築事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 伝統産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3095)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県、美濃市及び産地関係者は、産官一体で取り組む美濃和紙活性化の取り組みの中で、新たな美濃和紙ブランド (Mブランド) の認定基準を策定し、2017年3月には国内外でMブランドのお披露目を行い、以来その展開を図っているところ。

Mブランド商品については、現在着実に登録数を増やしているが、関係者からは、登録が必ずしも売り上げにつながっていないことや、登録商品を一体的に販売する場所がないことが課題として挙げられている。

美濃和紙製品の売り上げが低迷する中、需要拡大は産地の喫緊の課題であり、とりわけ、昨今主流となっているWEB販売の仕組みを構築することが急務である。

そこで、Mブランドを管理・運営する美濃和紙ブランド協同組合が実施するECサイト構築事業を支援することで、美濃和紙の需要拡大を図る。

(2) 事業内容

美濃和紙ブランド協同組合がMブランド商品の販売のために行うECサイトの構築事業を助成する。

<補助金の概要>

○補助金名：美濃和紙ブランド EC サイト構築事業費補助金

○補助対象及び補助率

補助対象：以下の事業に要する経費

補助対象事業	補助対象者	補助率	限度額
美濃和紙ブランド協同組合が行うMブランド商品販売のためのECサイト構築事業	美濃和紙ブランド協同組合	補助対象経費の1/3以内	上限額：1,000千円

(3) 県負担・補助率の考え方

上記のとおり

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金、負担金及び交付金	1,000	補助金
合計	1,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

④ 「ぎふブランド」づくり

(2) 国・他県の状況

- ・ 16 府県において、伝統的工芸品に関する県単独補助を実施（うち 3 県は特定産業への支援を実施）

(3) 後年度の財政負担

- ・ 単年度事業として措置予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 美濃和紙ブランド協同組合はMブランドを管理・運営する団体であり、同組合が構築するECサイトが美濃和紙関係事業者のプラットフォームとなることが、需要拡大を図る上で最も効果的である。
- ・ 同組合は十分な資本を有しておらず、県の支援が必要である。

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	美濃和紙ブランドECサイト構築事業費補助金
補助事業者(団体)	美濃和紙ブランド協同組合 (理由) 美濃和紙ブランド協同組合が単独で取り組むには大きな負担を伴うため。
補助事業の概要	(目的) Mブランド商品をはじめとする美濃和紙の需要拡大 (内容) 美濃和紙ブランド協同組合が実施するECサイトの構築を支援
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他(例:人件費相当額) (内容) 補助対象経費の1/3以内 (理由) 補助事業者に一定割合の負担を求めるため。
補助効果	Mブランド商品の需要拡大及び美濃和紙製品のブランド力向上
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 「次年度の方向性」参照

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

Mブランド商品のWEB上での販路拡大を図り、美濃和紙産業の活性化を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3末)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	
					達成率	
ECサイト構築件数	-	-	-	1件	1件	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください
	指標① 目標： 件 実績： 件 達成率： %
令和3年	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標： __ 実績： __ 達成率： __ %
令和4年	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： __ 実績： __ 達成率： __ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 美濃和紙を取り巻く5つの課題 (「需要の拡大」「ブランド力向上」「後継者の育成」「原材料の確保」「地域の魅力向上」)のうち、最重要課題である「需要の拡大」に有効な戦略の着実な実行が必要である。

(次年度の方角性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第2期アクションプランが令和3年度で終期を迎えることから、次年度以降の方角性については、美濃和紙活性会議での議論を踏まえて決定する。 具体的な事業実施にあたっては、研究会での議論や検討内容を踏まえ、産地の活性化に向けて更なる需要拡大を図っていく。
